

## 平成22年2月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年7月8日

上場会社名 株式会社 オオゼキ

上場取引所 東

コード番号 7617 URL <http://www.ozeki-net.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 石原坂寿美江

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員コーポレート部長 (氏名) 柵山健哉

TEL 03-6407-2511

四半期報告書提出予定日 平成21年7月9日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年2月期第1四半期の業績(平成21年3月1日～平成21年5月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第1四半期	17,355	—	1,283	—	1,305	—	744	—
21年2月期第1四半期	16,709	1.5	1,373	7.8	1,396	7.9	817	6.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年2月期第1四半期	63.59	—
21年2月期第1四半期	66.77	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年2月期第1四半期	32,878	25,503	77.6	2,179.00
21年2月期	32,728	25,285	77.3	2,160.41

(参考) 自己資本 22年2月期第1四半期 25,503百万円 21年2月期 25,285百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年2月期	—	—	—	45.00	45.00
22年2月期	—	—	—	—	—
22年2月期(予想)	—	—	—	46.00	46.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年2月期の業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	34,244	—	2,598	—	2,649	—	1,545	—	132.02
通期	69,377	3.9	5,391	4.1	5,494	3.3	3,203	2.2	273.74

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

〔(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年2月期第1四半期	12,651,000株	21年2月期	12,651,000株
② 期末自己株式数	22年2月期第1四半期	946,920株	21年2月期	946,920株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年2月期第1四半期	11,704,080株	21年2月期第1四半期	12,236,580株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 当第1四半期会計期間の業績は、当初見込んだ業績予想の範囲内にて推移しており、現時点においては、平成21年4月8日付けにて公表した業績予想の変更は行っておりません。しかしながら、実際の業績は、今後様々な要因により変わる可能性があります。
- 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間において、欧米の金融機関において公的資金による資本増強や資産購入による資金供給が進み、世界的な資金の流動性改善が見られる中で、わが国の経済は、企業生産および個人消費の一部に景気対策等による下げ止まりの兆しとともに、株価の急激な回復がみられるものの、実質的な企業収益および設備投資は大幅に減少したままであり、雇用情勢も引き続き厳しい状況が続いております。

当社の属する食品スーパー業界におきましては、大手各社による一層のディスカウント傾向や、店舗の小型化による人口密集地への出店強化といった、当社にとっての競合環境の激化が進展しつつあると考えられます。

このような経営環境認識の中、当社では「オオゼキイズム」の再確認と徹底を図りました。平成21年4月に祖師谷大蔵店の改装を実施するとともに、当社初進出となる千葉県市川市に約3年振りとなる新規出店を行いました。既存店における約1ヶ月間の閉店、または認知度の低いエリアへの出店を通じて、従業員一同、ご来店いただくお客様への感謝の念を新たにするとともに、当社の特徴やチームワークの重要性を再認識することができました。

また販促面・商品面におきましては、特に成長の鈍化している既存店において、折込チラシの配布エリアの見直しや各種販促イベントの定番化を行うとともに、価格政策においても、単なる安売りではなく個々の商品の価値を踏まえた「お値打ち感」を訴求できる価格設定によって、来店頻度の向上を通じた来店客数の増加を図っております。

この結果、当第1四半期会計期間の売上高は前年同期と比べ6億45百万円増の173億55百万円、経常利益は前年同期と比べ、90百万円減の13億5百万円、四半期純利益は7億44百万円となりました。

なお、前年同期比は参考として記載しております。

## 2. 財政状態に関する定性的情報

## ① 財政状況の変動状況

当第1四半期会計期間末における総資産は前事業年度末比1億50百万円増加の328億78百万円となりました。その主な要因は、固定資産が13億5百万円増加、流動資産が11億55百万円減少したことによるものであります。なお、純資産は前事業年度末と比較して2億17百万円増加し、255億3百万円となり、自己資本比率は、77.6%となっております。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は132億91百万円となり、前事業年度末と比較して78百万円の減少となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は8億29百万円の収入となりました。主なプラス要因は、税引前四半期純利益12億74百万円、仕入債務の増加3億19百万円、賞与引当金の増加1億68百万円等であり、主なマイナス要因は法人税等の支払額11億88百万円、未払費用の減少71百万円等であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は4億21百万円の支出となりました。主なプラス要因は、有価証券満期による収入10億円、主なマイナス要因は、有形固定資産取得による支出14億64百万円等によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は4億87百万円の支出となりました。要因は、配当金の支払による支出4億87百万円によるものであります。

## 3. 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は、概ね計画通りの推移となっておりますので、現時点での業績予想につきましては、平成21年4月8日発表の業績予想に修正を要する事象は生じておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、実際の業績は、様々な要因により業績予想とは異なる可能性があります。実際の業績に与え得る重要な要因には、当社の事業を取巻く経済環境、競合状況、天候要因、市場動向等が考えられます。

## 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当第1四半期会計期間より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

2. 棚卸資産の評価基準及び評価方法について、従来、商品のうち生鮮食料品については最終仕入原価法による原価法、上記以外の商品については売価還元法による原価法、貯蔵品については最終仕入原価法による原価法によっておりましたが、当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、商品のうち生鮮食料品については最終仕入原価法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)、上記以外の商品については売価還元法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)、貯蔵品については最終仕入原価法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。これによる損益に与える影響はありません。

## 5. 【四半期財務諸表】

## (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,165,705	8,477,745
売上等預け金	1,186,254	—
売掛金	43,054	15,667
有価証券	5,065,544	6,063,277
商品	754,101	808,460
貯蔵品	11,182	13,497
前払費用	157,451	157,707
繰延税金資産	211,967	188,328
短期貸付金	3,966	3,546
未収入金	70,017	65,903
その他	3,330	33,655
貸倒引当金	△120	△105
流動資産合計	14,672,455	15,827,684
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,414,071	3,312,912
構築物(純額)	71,380	74,243
車両運搬具(純額)	10,191	11,379
工具、器具及び備品(純額)	320,635	285,243
土地	10,327,964	9,140,104
建設仮勘定	—	28,500
有形固定資産合計	14,144,243	12,852,382
無形固定資産		
ソフトウェア	62,055	68,095
電話加入権	1,223	1,223
無形固定資産合計	63,278	69,318
投資その他の資産		
投資有価証券	300,000	300,000
出資金	469	469
長期貸付金	30,322	30,546
長期前払費用	12,747	13,195
繰延税金資産	166,490	163,904
差入保証金	3,452,093	3,442,092
長期未収入金	34,939	27,185
その他	1,600	1,600
貸倒引当金	△97	△86
投資その他の資産合計	3,998,564	3,978,906
固定資産合計	18,206,086	16,900,607
資産合計	32,878,541	32,728,292

(単位: 千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,199,716	2,879,727
未払金	1,551,734	1,529,828
未払費用	660,716	732,531
未払法人税等	569,650	1,215,020
未払消費税等	146,090	112,907
前受金	19,282	16,072
預り金	378,884	292,576
賞与引当金	338,745	170,000
流動負債合計	6,864,820	6,948,663
固定負債		
退職給付引当金	314,922	307,631
その他	195,652	186,375
固定負債合計	510,575	494,006
負債合計	7,375,395	7,442,670
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,515,150	1,515,150
資本剰余金	1,950,724	1,950,724
利益剰余金	24,186,409	23,968,884
自己株式	△2,149,138	△2,149,138
株主資本合計	25,503,145	25,285,621
純資産合計	25,503,145	25,285,621
負債純資産合計	32,878,541	32,728,292

(2) 【四半期損益計算書】  
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)
売上高	17,355,244
売上原価	13,045,759
売上総利益	4,309,485
不動産賃貸収入	169,232
営業総利益	4,478,717
販売費及び一般管理費	3,194,838
営業利益	1,283,879
営業外収益	
受取利息	4,836
有価証券利息	3,467
受取手数料	15,032
雑収入	772
営業外収益合計	24,109
営業外費用	
雑損失	2,144
営業外費用合計	2,144
経常利益	1,305,844
特別損失	
固定資産除却損	31,089
特別損失合計	31,089
税引前四半期純利益	1,274,755
法人税、住民税及び事業税	556,771
法人税等調整額	△26,225
法人税等合計	530,546
四半期純利益	744,208

## (3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	1,274,755
減価償却費	108,221
無形固定資産償却費	7,109
その他の償却額	270
貸倒引当金の増減額(△は減少)	26
賞与引当金の増減額(△は減少)	168,745
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,291
受取利息及び受取配当金	△8,304
有形固定資産除却損	31,089
売上債権の増減額(△は増加)	△27,386
たな卸資産の増減額(△は増加)	56,673
前払費用の増減額(△は増加)	255
その他の流動資産の増減額(△は増加)	25,365
仕入債務の増減額(△は減少)	319,989
未払消費税等の増減額(△は減少)	33,183
未払金の増減額(△は減少)	15,792
長期未払金の増減額(△は減少)	△889
未払費用の増減額(△は減少)	△71,814
その他の流動負債の増減額(△は減少)	89,518
その他	△20,818
小計	2,009,073
利息及び配当金の受取額	8,737
法人税等の支払額	△1,188,545
営業活動によるキャッシュ・フロー	829,265
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△15,000
定期預金の払戻による収入	60,000
有価証券の償還による収入	1,000,000
有形固定資産の取得による支出	△1,464,203
無形固定資産の取得による支出	△1,543
貸付けによる支出	△1,000
貸付金の回収による収入	804
その他の支出	△34,426
その他の収入	24,176
預り保証金の返還による支出	△1,833
預り保証金の受入による収入	12,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△421,025

(単位:千円)

当第1四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△487,064
財務活動によるキャッシュ・フロー	△487,064
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△78,824
現金及び現金同等物の期首残高	13,370,449
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,291,625

当第1四半期会計期間より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (6) 第1四半期の部門別売上高状況について

品目別	前第1四半期会計期間 (自 平成20年3月1日 至 平成20年5月31日)		当第1四半期会計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日)		前事業年度 (自 平成20年3月1日 至 平成21年2月28日)	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)
生鮮食品						
精肉	2,074,728	12.4	2,129,143	12.3	8,346,524	12.5
青果	3,656,493	21.9	3,863,752	22.3	14,651,211	21.9
鮮魚	2,139,605	12.8	2,203,842	12.7	8,482,272	12.7
惣菜	76,313	0.5	77,680	0.4	307,194	0.5
小計	7,947,141	47.6	8,274,419	47.7	31,787,203	47.6
一般食品						
日配	3,166,865	18.9	3,293,433	19.0	12,837,159	19.2
食品	3,050,749	18.3	3,163,891	18.2	12,145,069	18.2
菓子	1,156,469	6.9	1,191,325	6.9	4,356,443	6.5
酒	1,098,798	6.6	1,145,619	6.6	4,493,195	6.8
小計	8,472,881	50.7	8,794,269	50.7	33,831,866	50.7
その他	289,411	1.7	286,555	1.6	1,160,377	1.7
合計	16,709,434	100.0	17,355,244	100.0	66,779,447	100.0

(注) 1. 上記の金額に消費税等は含まれておりません。

2. 販売数量については、取扱商品が多種多様であり、その表示が困難なため記載を省略しております。

3. 日配は、冷凍食品、漬物、麺類、練物、乳製品、豆腐等であります。

4. その他は、雑貨、煙草、商品券等であります。

5. 主要な販売先の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合については、販売先別の販売実績の総販売実績に対する割合が100分の10未満であるため記載を省略しております。

「参考」

(要約)前第1四半期財務諸表

(1) 四半期損益計算書

科 目	前第1四半期累計期間 (自 平成20年 3月 1日 至 平成20年 5月31日)
	金額 (千円)
I 売上高	16,709,434
II 売上原価	12,548,702
売上総利益	4,160,731
III 不動産賃貸収入	172,726
営業総利益	4,333,457
IV 販売費及び一般管理費	2,960,312
営業利益	1,373,145
V 営業外収益	24,781
VI 営業外費用	1,455
経常利益	1,396,471
VII 特別損失	445
税引前四半期純利益	1,396,025
法人税、住民税及び事業税	612,588
法人税等調整額	△ 33,613
四半期純利益	817,050

## (2) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年 3月 1日 至 平成20年 5月 31日)
区分	金額 (千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	1,396,025
減価償却費	108,811
無形固定資産償却費、その他投資及び繰延資産償却費	8,678
貸倒引当金の増加額	31
賞与引当金の増加額	186,000
退職給付引当金の増加額	6,709
受取利息及び受取配当金	△ 14,528
有形固定資産除却損	445
売上債権の減少額	3,280
たな卸資産の増加額	△ 33,872
前払費用の減少 (△増加) 額	△ 48,313
その他流動資産の増加額	△ 15,049
仕入債務の増加額	248,786
未払消費税等の増加 (△減少) 額	26,517
未払費用の増加 (△減少) 額	△ 91,348
未払金の増加額	78,156
長期未払金の増加 (△減少) 額	△ 6,249
その他流動負債の増加 (△減少) 額	113,349
その他	△ 13,928
小計	1,953,502
利息及び配当金の受取額	11,858
法人税等の支払額	△ 1,014,861
営業活動によるキャッシュ・フロー	950,499
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△ 310,000
定期預金の払戻による収入	60,000
有価証券の取得による支出	△ 499,036
有価証券の満期による収入	2,000,000
有形固定資産に取得による支出	△ 87,261
貸付けによる支出	△ 10,000
貸付金の回収による収入	421
その他投資の取得による支出	△ 3,046
その他投資の減少による収入	24,541
預り保証金の減少による支出	△ 2,217
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,173,401

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年3月1日 至 平成20年5月31日)
区分	金額(千円)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー 配当金の支払額	△ 433,637
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 433,637
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—
V 現金及び現金同等物の増加額	1,690,263
VI 現金及び現金同等物の期首残高	10,751,036
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	12,441,299